

TATEBAYASHISHINKIN BANK REPORT

2019

令和元年度上期館林信用金庫の現況
(令和元年9月末)



 たてしん

館林信用金庫と地域社会

～ 地元とともに～

令和元年9月末現在

1 たてしんの経営理念

当金庫は「地域金融機関」としての認識のもとに独自の役割を担うべく次の項目を実践します。

- ①本業重点地域主義の徹底
- ②健全性確保と強靱な経営体質の構築
- ③市場原理の貫徹と自己責任原則の確立
- ④社会的良識を備えた人材の確保と育成

2 当金庫の事業地域と地域経済活性化への取り組み

当金庫は、群馬県館林市、太田市、桐生市（旧新里村、黒保根村を除く）、邑楽郡、栃木県佐野市（旧田沼町、葛生町を除く）、足利市、栃木市（旧栃木市、大平町、都賀町を除く）及び加須市（旧加須市、騎西町、大利根町を除く）を事業地域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

3 預金積金に関する事項（地域からの資金調達状況）

当金庫では、地域のお客様の資金づくりのお手伝いをさせていただくため、ライフサイクルに合わせた新商品の開発やサービスの充実に向けて努めております。

当金庫で取り扱っている商品については、2019年版ディスクロージャー誌の12ページをご覧ください。

預金積金残高 128,243百万円

4 貸出金（運用）に関する事項（地域への資金供給の状況）

お客様からお預かりしました預金積金は、お客様のさまざまなニーズに応え、地域経済の活性化に資するため、貸出金をととして地域社会に還元しております。貸出金は、中小企業者を中心に設備資金として394億円、運転資金として304億円を融資しております。その他、個人のお客様には住宅資金として106億円、消費者ローン等に21億円を融資しております。

当金庫で取り扱っている商品については、2019年版ディスクロージャー誌の13ページ・17ページをご覧ください。

貸出金残高 69,922百万円 預金に占める貸出金の割合 54.5%

5 貸出金以外の運用に関する事項

余資運用残高は前年同期比3,063百万円の増加となりました。うち、有価証券は34,629百万円で前年同期比1,608百万円増、率では4.87%増、国内債を中心に運用を行いました。預け金（無利息を除く）については29,954百万円で前年同期比1,455百万円増、率では5.10%の増となりました。

余資運用残高 64,583百万円 ※余資運用とは有価証券、預け金のことです。

6 今期決算に関する事項

前年同期比で預金積金は4.04%増加し、貸出金も2.39%増加しました。損益状況においては、経常収益は資金運用収益と貸倒引当金戻入益などの増加により、前年同期比48百万円増加、経常費用は人件費及び物件費などの減少により、前年同期比24百万円減少し、経常利益は216百万円、業務純益は174百万円、当期純利益は201百万円となりました。

7 社会的責任と地域貢献活動の取組

1) 献血と寄付金の負担

毎年6月15日の「信用金庫の日」にちなみ、6月から8月に掛けて多くの職員が献血を実施しております。また、募金活動も「信用金庫の日」と年末のNHK歳末助け合い募金に、それぞれ全役職員協力参加しております。

2)夏祭りへの参加

館林市および近隣各町で開催される夏祭りに当該地区店舗の役職員が参加しています。本年度も、7月14日の「たてばやし祭り」に58名、「板倉まつり」に18名の役職員が神輿担ぎに参加し地域住民との交流を深めました。

3)AEDの設置

お客様や近隣の方々が心筋梗塞等発病により心肺停止状態になった場合、応急処置がほどこせるよう、館林市役所出張所、板倉ニュータウン出張所を除き全店にAEDを設置しております。各設置店においては、万が一に備え定期的にAEDの取扱い訓練を行っています。

8取引先への支援・つながり、トピックス

1)ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

平成25年度中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業に係る「地域プラットフォーム」に登録し、「群馬県中小企業支援プラットフォーム」に参加、関係情報の収集を行い、営業店に還元し、支援となるよう努めています。

平成26年度に発足した「たてばやし創業応援ネットワーク」の構成団体の一員として、9月28日に開催の「第6回創業なんでも相談会in館林」に職員を派遣して、創業予定者・希望者に対する相談・支援を行っています。

さらに、平成26年9月に創業を支援するため「たてしん創業支援資金」を新設しました。

(2) 経営改善支援

経営革新等支援機関認定制度が創設され、当金庫は平成24年12月21日付で認定を受け、地域金融機関として今まで以上に取引先企業の経営改善等に鋭意努力しています。また、本年度は支援先14先を選定しコンサルティング機能の発揮、協働してソリューションの実施を支援しています。

(3) 事業再生支援

取引先の事業再生のため、融資返済条件変更等の支援の他、平成24年10月19日、群馬県中小企業診断士協会と業務提携し、必要とする顧客企業に対し、個別に専門家の派遣を実施、また、必要に応じて中小企業再生支援協議会等と協力した事業再生支援を実施しています。

(4) 事業承継支援

取引先への事業承継に関するアンケート結果に基づき、個別にヒヤリングを行い、事業承継の課題解決に取り組んでおります。また、当金庫・館林市・館林商工会議所の三者による「館林事業承継ネットワーク」を構築し、専門家による講演会・個別相談会開催等、官民一体での事業承継支援も推進しております。更に、第三者承継と言われているM&A仲介業務については、群馬県事業引継ぎ支援センターや、当金庫と協定書の締結を行いました信金キャピタル・(株)トランピの仲介による支援を行っており、取引先の課題に合った支援方法を選択し、積極的に取り組んでおります。

(5) ビジネスマッチング

令和元年ビジネスマッチングフェアを館林信用金庫・桐生信用金庫・アイオー信用金庫・館林市・太田市・桐生市・桐生商工会議所が共催し、196社の地元中小企業や大学等がブース出展し、それぞれの製品や技術を発信し交流が図られました。同時に地元企業による講演会や大手バイヤーとの個別商談会・専門機関との個別相談会も行われました。取引先のビジネスパートナーとして、お客様本位の営業体制を強化していきます。

2)たてしんビジネスクラブの活動

経営者の異業種交流を図る場として講演会や企業見学会等を行い会員相互の発展と交流のお手伝いをおこなっております。本年度は11月に豊洲市場東京証券取引所警視庁の見学を開催予定であります。

3)たてしん会の活動

6月13日に第67回たてしん会ゴルフコンペを唐沢ゴルフ倶楽部・三好コースで会員32名の参加のもと開催しました。10月にはたてしん会旅行「観劇（五木ひろし特別公演）と日本橋なだ万での夕食会」を開催予定であります。

4)年金・ローン相談会の開催

年間を通し毎月一回各営業店にて、年金裁定請求のお手伝いや加入記録、受給見込額の調査等の年金に関する相談会を行っています。また、住宅ローンをはじめとしたローン全般の相談会も同時に開催しております。（本店営業部と板倉支店は日曜日、その他の店舗は平日に開催）

5)たてしん年金友の会の活動

当金庫に年金振込指定して頂いているお客様への感謝と、お客様相互の親睦を図ることを目的に、「たてしん年金友の会」バス旅行を毎年企画しております。本年度は9月29日、30日に【佐渡金山の旅】を企画、参加者72名にて親睦を図りました。

預金積金・貸出金残高

(単位・百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
預金積金	123,262	126,729	128,243
貸出金	68,287	69,478	69,922
預貸率	55.39%	54.82%	54.52%

業種別貸出金残高

(単位・百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
製造業	8,563	9,280	9,526
農業、林業	167	155	143
漁業	—	—	—
鉱業、砕石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	4,600	4,158	4,056
電気・ガス・熱供給・水道業	1,278	1,390	1,692
情報通信業	0	3	2
運輸業、郵便業	2,743	2,672	2,680
卸売業・小売業	4,598	4,693	4,640
金融業、保険業	3,821	3,943	4,453
不動産業	11,293	10,929	10,869
物品賃貸業	500	500	500
学術研究、専門・技術サービス業	112	109	104
宿泊業	508	484	457
飲食業	810	760	664
生活関連サービス業、娯楽業	1,897	1,939	1,866
教育、学習支援業	273	268	262
医療・福祉	4,387	4,220	4,132
その他のサービス	1,992	2,071	1,992
小計	47,550	47,580	48,046
地方公共団体	8,045	9,207	9,155
個人（住宅・消費・納税等）	12,691	12,690	12,720
合計	68,287	69,478	69,922

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。なお、日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末より改定後の日本標準産業分類に準じて区分しています。

損益の状況

(単位・百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
業務純益	139	153	174
コア業務純益	98	127	161
経常利益	143	154	216
当期純利益	113	144	201

金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

(単位・百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	844	696	646
危険債権	3,034	3,094	3,000
要管理債権	302	327	299
正常債権	64,255	65,505	66,162
合計	68,436	69,624	70,108

(注) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権は破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。危険債権は債務者が経営破綻に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。要管理債権は3か月以上の延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する貸出金です。正常債権は債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権です。

不良債権比率

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
不良債権比率	6.10%	5.91%	5.62%

自己資本の構成

(単位・百万円)

バーゼルⅢ国内基準	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	7,713	7,751	7,956
コア資本に係る調整項目の額 (B)	55	53	74
自己資本の額【(A) - (B)】 (C)	7,658	7,698	7,881
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	70,776	72,056	73,816
自己資本比率 (C) / (D)	10.82%	10.68%	10.68%

自己資本比率は、経営の健全性・安全性を示す重要な指標の一つで、リスク（損失）が発生する可能性のある資産総額（リスク・アセット等）に対し、出資金や利益剰余金などの自己資本額が占める割合を示しています。国内で業務を行っている信用金庫には、4%以上の自己資本比率が求められています。

(注) 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」（平成18年金融庁告示第21号）が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日より改正後の告示が適用されたことから、新告示（バーゼルⅢ国内基準）に基づく開示を行っております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

有価証券の時価情報

(単位・百万円)

	平成31年3月末				令和元年9月末			
	時価	評価差額	評価差額		時価	評価差額	評価差額	
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	30,897	948	963	15	31,923	1,129	1,158	28
株式	77	13	14	0	71	7	17	9
債券	26,761	753	756	2	27,272	825	829	3
その他	4,059	181	193	11	4,578	295	310	15

(注) その他有価証券で時価のあるものを記載しております。「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の有価証券です。

(単位・百万円)

	平成31年3月末				令和元年9月末			
	帳簿価格	含み損益	含み損益		帳簿価格	含み損益	含み損益	
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,599	-23	6	30	2,699	-5	12	17
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 満期保有目的の債券は、外国証券です。

館林信用金庫

館林市本町一丁目6番32号

TEL 0276 - 72 - 5511

FAX 0276 - 74 - 4897

<http://www.shinkin.co.jp/tateshin/>

常勤役職員数 138人

店舗数 10店

会員数 12,453名

出資金残高 207百万円



■店舗一覧及びATM設置状況等(令和元年9月末現在)

台数	店舗	住所	ATM稼働時間	電話
2	本店(本部・営業部)	館林市本町一丁目6番32号	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-72-5511(代)
2	南支店	館林市本町四丁目7番20号	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-72-4715(代)
1	大泉支店	邑楽郡大泉町富士二丁目5番12号	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-62-5144(代)
1	西支店	館林市富士見町8番1号	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-74-4100(代)
1	板倉支店	邑楽郡板倉町大字岩田913番地	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-82-2321(代)
①	本店営業部 館林市役所出張所	館林市城町1番1号	平日 8:45~18:00	0276-74-9211(代)
1	邑楽町支店	邑楽郡邑楽町大字中野3163番地1	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-88-7511(代)
1	本店営業部 北出張所	館林市瀬戸谷町2286番地3	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-75-2552(代)
1	明和支店	邑楽郡明和町大佐貫182番地の5	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-84-4111(代)
1	板倉支店 板倉ニュータウン出張所	邑楽郡板倉町朝日野一丁目14番地の1	平日 8:45~19:00 土・日・祝 9:00~17:00	0276-70-4321(代)
①	アゼリアモール出張所	館林市楠町3648番地1	平日 9:00~20:00 土・日・祝	0276-72-5511(代) (本店)

※ATM13台うち、店外ATM 2台(○印)